効果④ 緊急・災害時の迂回が可能に「圏央道－東関東道経由」

●常磐道の通行止時に、つくば～箱崎間の迂回機能を圏央道・東関東道で発揮。
迂回により圏央道の交通量が約８割増加

複数ルートによるリダンダンシーの確保

＜通行止事象の概要＞

交通事故に伴い、常磐道（上下）
柏IC～谷和原IC間で通行止が発生

通行止時間：H27年10月10日(土)
4:45～14:00(下り線は11:00に通行止め解除)

◆大型トラックが、自損事故を起こして停車していた普通貨物車に追突。
◆事故発生直後より、事故情報がドライバーへ発信される。

＜常磐道事故発生時の つくばJCT～箱崎JCT間の所要時間（推定）＞

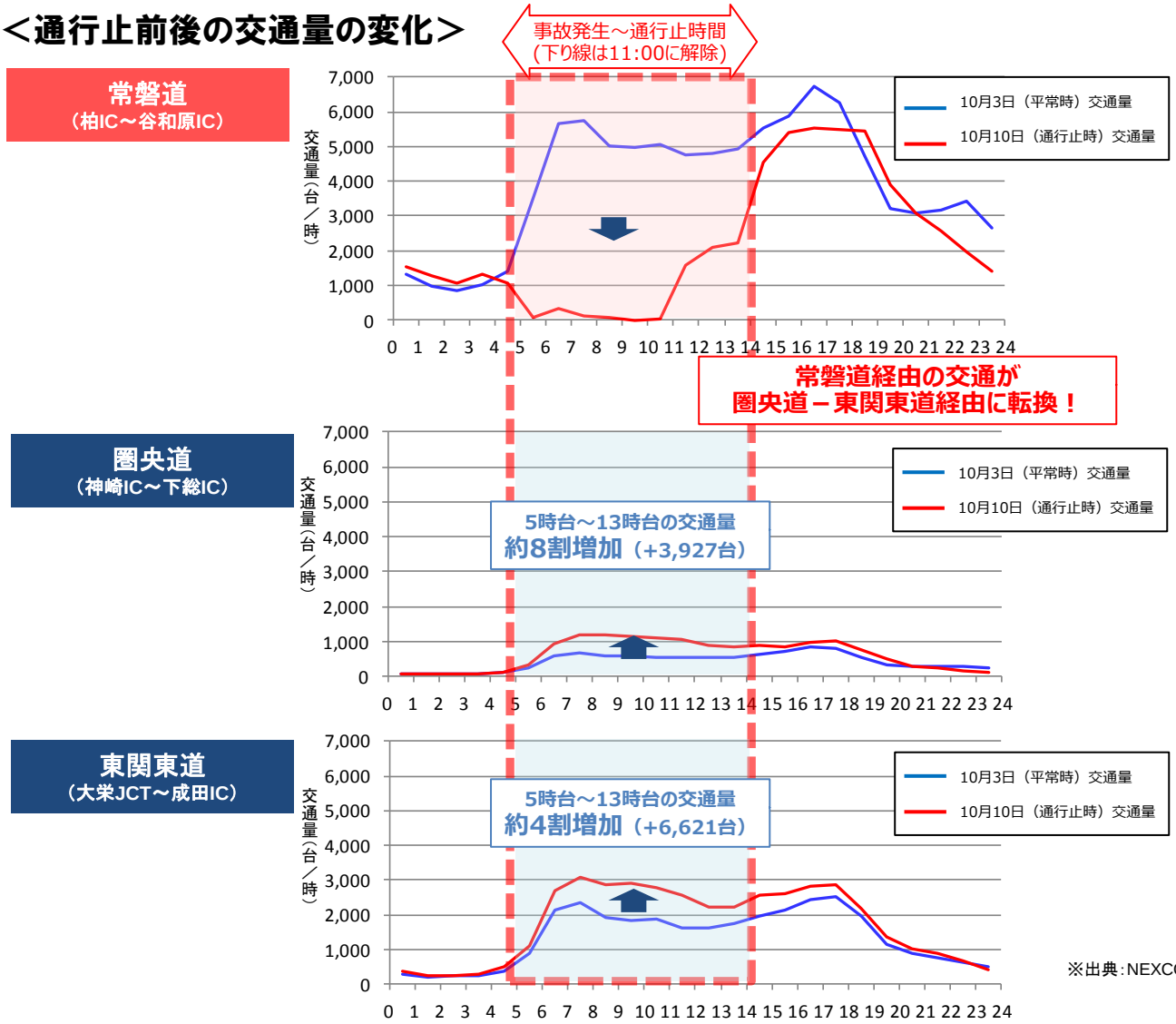
・常磐道利用　：約96分
（つくばJCT～谷和原IC～一般道※～柏IC～箱崎JCT）
※一般道は国道294号→国道6号→国道16号

・圏央道・東関東道利用　：約84分
（つくばJCT～圏央道～東関東道～京葉道路～箱崎JCT）

【参考：通行止が発生していない場合】
・常磐道利用　：約50分

出典：車両感知器データ（トラカンデータ）（H27.10.3、H27.10.10の5～14時の平均）、
プローブデータ（H27.10の休日の5～14時の平均）より算出

＜通行止前後の交通量の変化＞



※出典：NEXCOデータ